

特別号

米国ブラウンフィールド会議 2005 その2

お疲れ様です。環境メルマの佐藤です。

先週は、米国ブラウンフィールド会議 2005 の様子を現地からお届けしました。本会議に参加して、ブラウンフィールド再開発の奥の深さを改めて認識したという感じです。

今週は、Topic14に代わって、私の記憶が鮮明なうちに会議の全体像を皆さんと分かち合いたいと思います。

米国ブラウンフィールド会議 2005 は、11月2~4日の3日間、コロラド州デンバー市で開催されました。プログラム全体は大きく分けると

- ・ 教育セッション
- ・ 見学セッション
- ・ ポスターセッション
- ・ 映画上映

という構成でした。

1) 会議の中核をなす教育セッション

- ・ 住民参画、環境正義および公衆衛生 (Community Involvement, Environmental Justice, and Public health)
- ・ 経済開発と都市計画 (Economic Development and Planning)
- ・ 環境マネジメント (Environmental Management)
- ・ 連邦政府設備 (Federal Facilities)
- ・ 資金調達と投資 (Financing and Investment)
- ・ 公共政策、法と規制 (Public Policy, Law and Regulations)
- ・ 不動産取引 (Real Estate Dealmaking)
- ・ 持続可能な開発と環境配慮建物 (Sustainable Development and Green Building)
- ・ 技術革新 (Technology Innovations)

これらの大きなテーマの下に複数の個別テーマが用意されており、その個別テーマについてセッションが開かれておりました。その数、なんと120以上。3日間でこれだけのテーマをカバーしたのですから、多くの情報が飛び交っていたことがイメージできるかと思います。1セッション75分で、複数セッションが同時開催されておりました。セッションの形式は、パネルディスカッション、講演、全員参加型ディスカッションがありました。

2) 人気の高い見学セッション

- ・ 国立再生可能エネルギー研究所 (National Renewable Energy Lab) における未来持続可能エネルギーの革新
- ・ ロッキー地域兵器庫：初期段階の浄化努力を振り返ってみて
- ・ アウロラ市にあるアート・ディストリクト (芸術家が住み活動している区域) と手頃な住宅

- ・ ショッピングセンターからダウンタウンまで：レイクウッドにおけるベルマー市の再開発

バスで対象地まで足を運び、ブラウンフィールド再開発プロジェクトのアウトプットを見学できます。観光も兼ねた感じで、なかなか人気が高いセッションだったようです。ちなみに参加費は 15 ドルです。

3) インタラクティブなポスター展示と企業ブース

ポスター展示は、会場の展示ルームにて開かれました。ブースは、政府関係と民間企業あわせて約 200 あまり。USEPA（米国環境保護庁）は、全米を 10 の地域に区分し、それぞれの地区に事務所を設置しているのですが、それら地域事務所から展示発表がありました。それぞれのポスターから、米国のブラウンフィールド再開発事業における地域色が伺えました。

4) 事前会議では BF の総合的取り組みと技術をレクチャー

本会議開始前 2 日間にわたって、以下の 2 つのテーマで勉強会・報告会が催されていました。。

- ・ 米独共同ブラウンフィールド再開発ワーキンググループ
- ・ 合理的調査とトライアド アプローチによる浄化

私は、米独共同ブラウンフィールド再開発ワーキンググループの報告会に出席しましたので、折に触れ情報発信する予定です。

プログラムに目を通していただけでも、お腹いっぱいになりそうなブラウンフィールド会議。より詳細情報にご興味がある方は、以下のウェブサイトをご覧ください。

<http://www.brownfields2005.org/en/index.aspx>

来週は、ブラウンフィールド再開発のプレーヤーに関して Topic14 をお届けいたします。（本メルマの最後に会議関連の写真を添付いたしました。ご興味のある方はご覧ください。）

Thanks God, It' s Friday!

Thanks God, It' s Brownfield!

環境メルマ 佐藤 (t.sato@ers-co.jp)

坂野のつけたし (banno@ers-co.jp)

会期中、11 月にしてはかなり暖かい日が続いたデンバー。19 世紀半ばにゴールドラッシュに沸き、すぐ西に南北に連なるロッキー山脈ではたくさんの金鉱山が掘られました。無料電気バスが走る 16th street mall を目抜き通りにして、人口約 55 万人（周辺を入れると約 260 万人）の落ち着いた都市がひろがっています。

ダウンタウンの西 (Lower Downtown 略して LoDo) ではブラウンフィールド再開発事業が進められ、再開発工事が真最中でした。EPA（環境保護局）の regional office（地域事務所）もここに移転してくるそうです。

もうひとつ、この会議で特筆すべきことがあります。ブラウンフィールド事業に取っ掛かりとなる環境評価のためのルールである All Appropriate Inquiry（すべての適切な評価手順）が会議直前の 11 月 1 日に正式に定められたことです。ERS が提供しているフェーズ I 評価サービスは、アメリカでは新しいステージに入ったこととなります。

コロラド コンベンションセンターのロビーの様子



開会式などのイベントが催されたボールルーム



パネルディスカッションの様子



デンバー市ダウンタウン

